

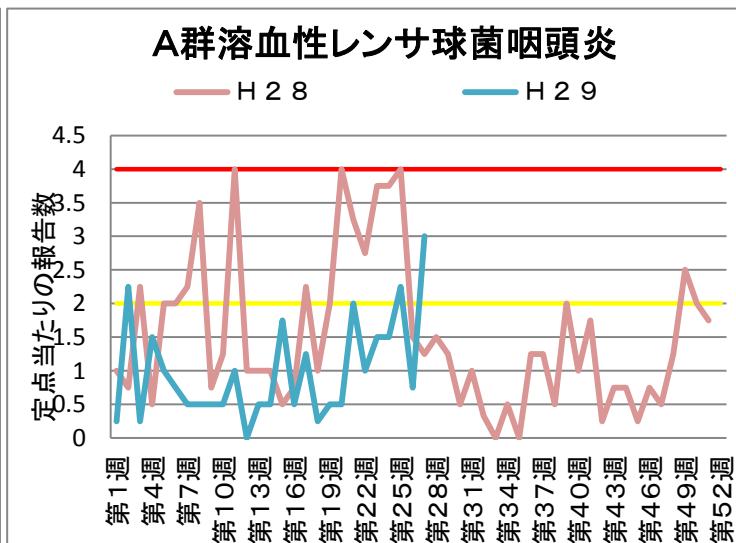
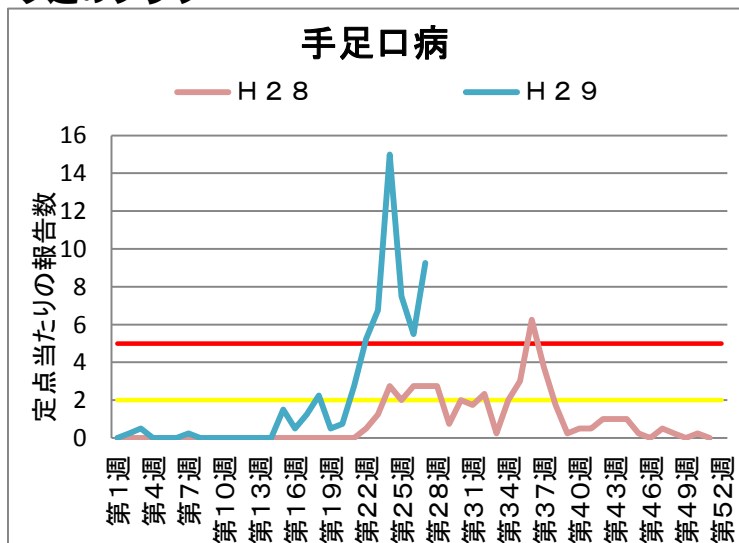
# 乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 27 週 平成29年7月3日 ~ 平成29年7月9日

## 今週のコメント

○ 手足口病の報告が再上昇しており、流行警報レベルが続いています(定点あたり9.25)。手足口病はその名の通り、口の中、手、足などの水疱性発疹と発熱を主症状とした急性ウイルス性感染症であり、乳幼児を中心として夏季に流行します。基本的には数日で治癒しますが、ときに髄膜炎などの合併症を呈することがあります。くしゃみなどの飛沫や接触などによって感染するので予防のために、帰宅時や食事前の手洗いやうがいを心がけ、タオルの共用は避けましょう。ウイルスはしばらく便中に排泄されるので、トイレ後やおむつを替えた後の手洗いも大切です。近年の流行は、2011年、2013年、2015年にみられています。2017年に最も多く検出されているウイルスはコクサッキーウイルスA6(CA6)で約半数を占めています。CA6による手足口病では、従来の手足口病と比較して、水疱が大きいことや、手足口病発症後、数週間後に爪脱落が起こることが報告されています。

## 今週のグラフ



\* — 流行警報基準値です — 警報継続基準値です

## 今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	-	手足口病	9.25
RSウイルス感染症	-	伝染性紅斑	-
咽頭結膜熱	0.25	突発性発しん	0.75
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	百日咳	-
感染性胃腸炎	7	ヘルパンギーナ	0.5
水痘	-	流行性耳下腺炎	0.75

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

\* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

## 参考資料等

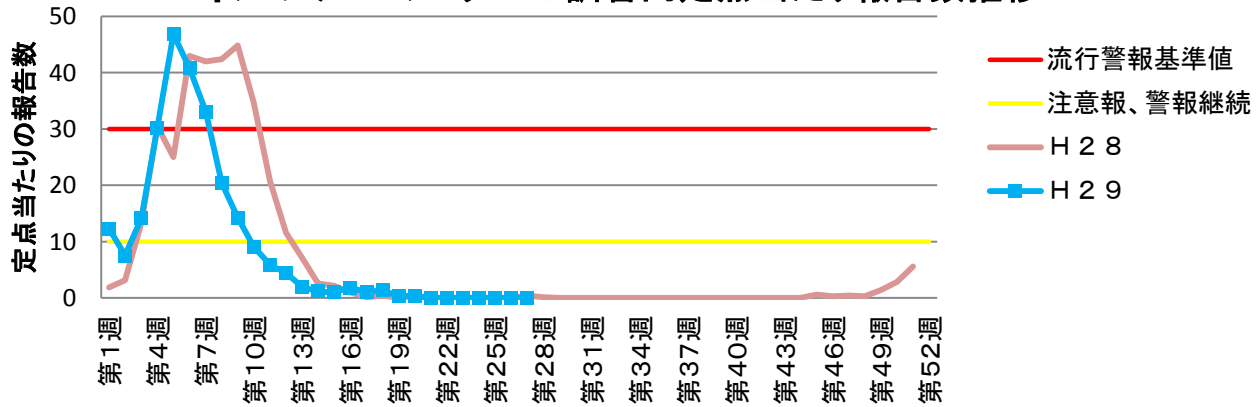
報告週対応表

警報・注意報基準値の説明

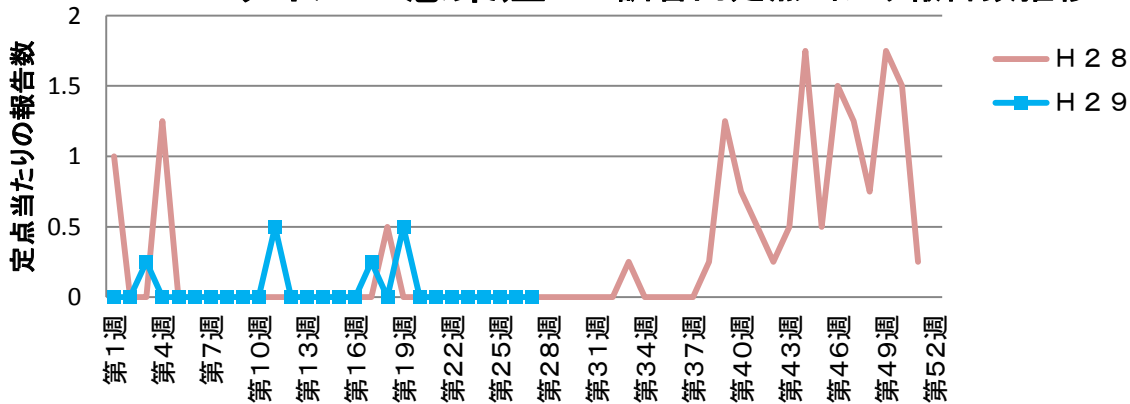
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide03.html>

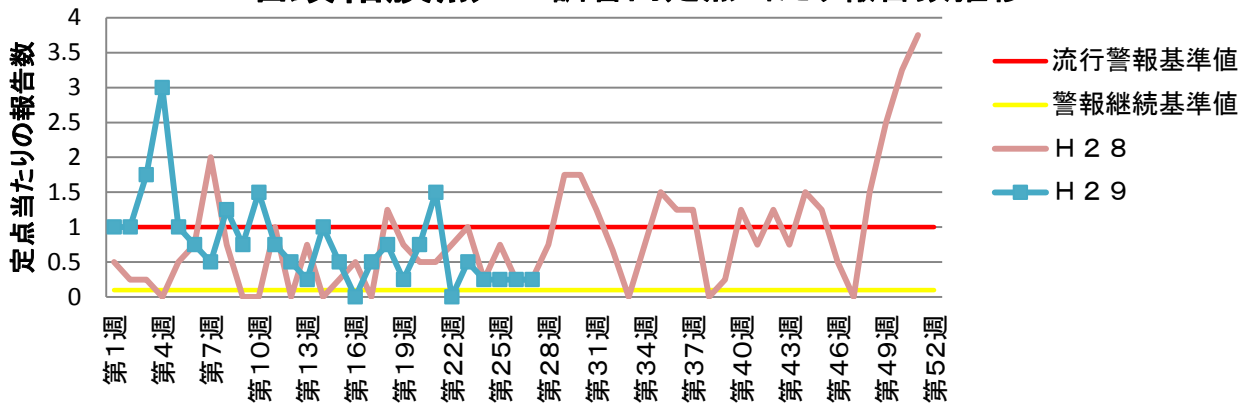
## インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



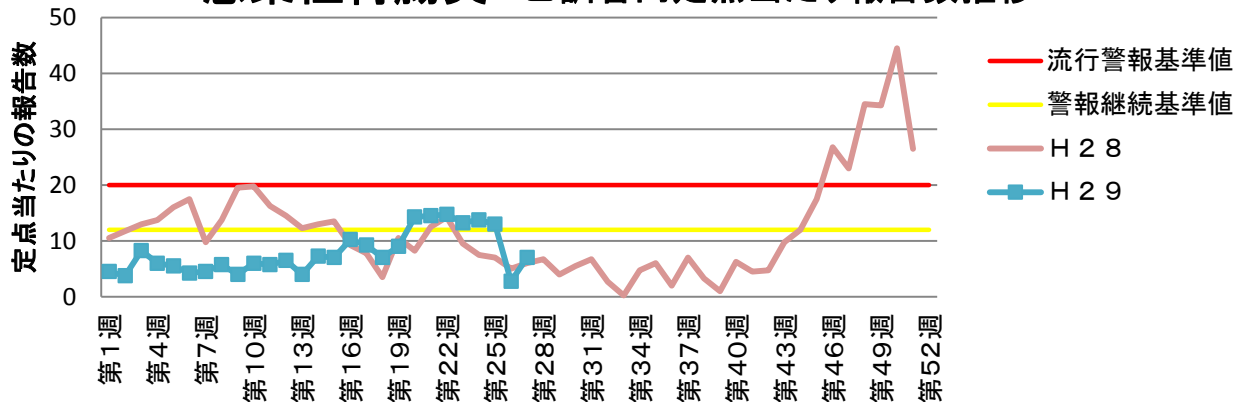
## RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



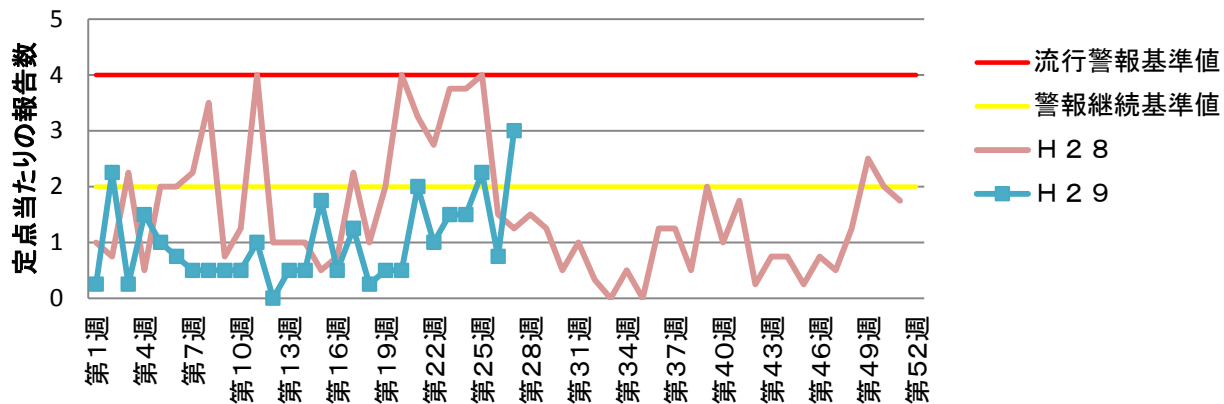
## 咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



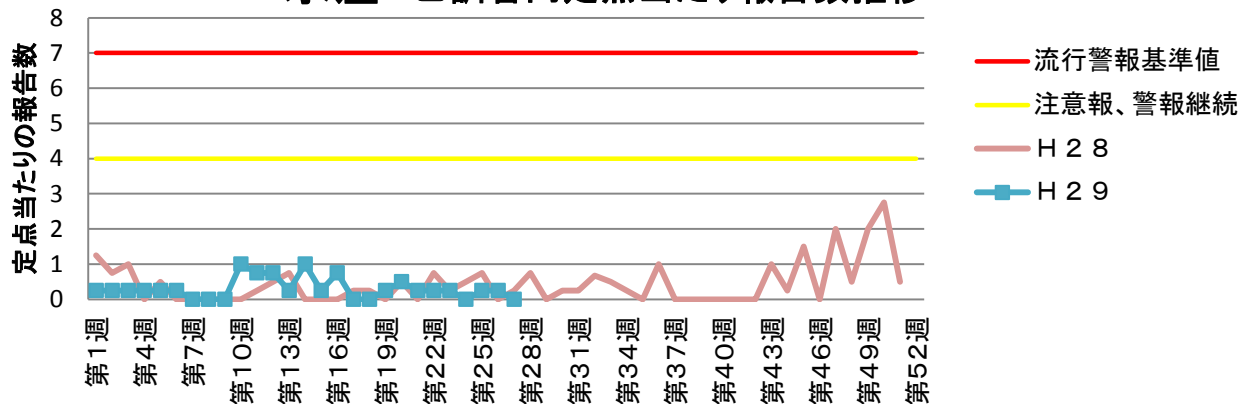
## 感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



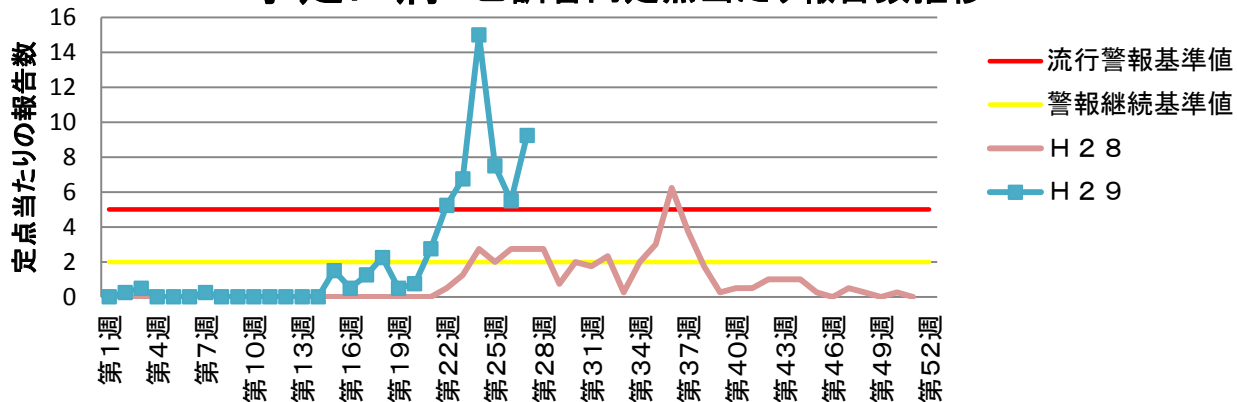
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



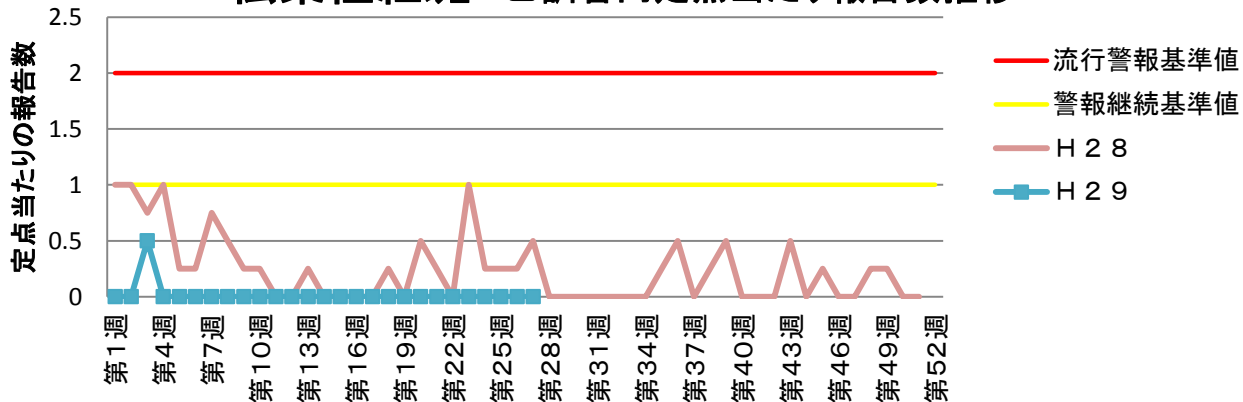
### 水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



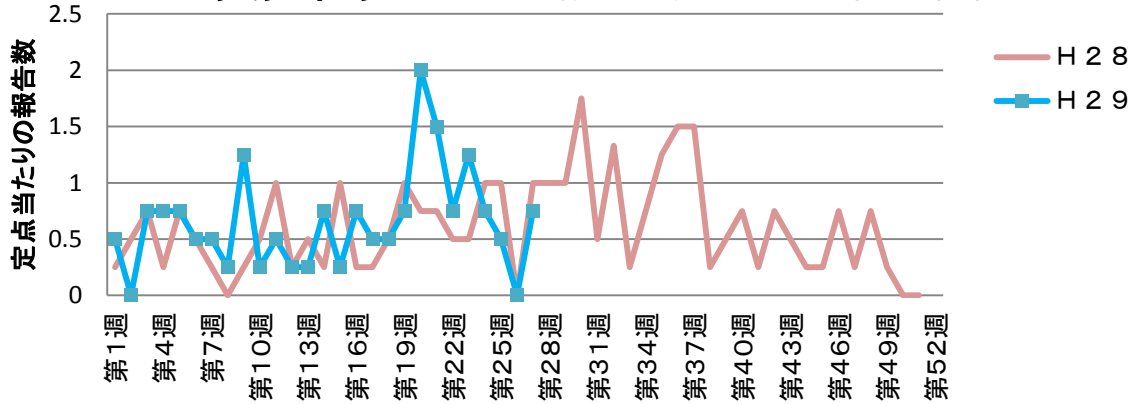
### 手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



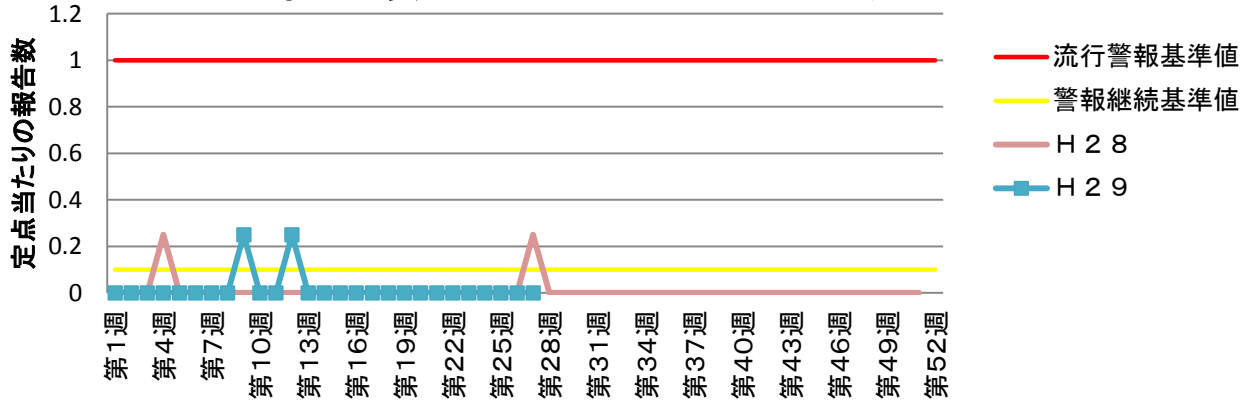
### 伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



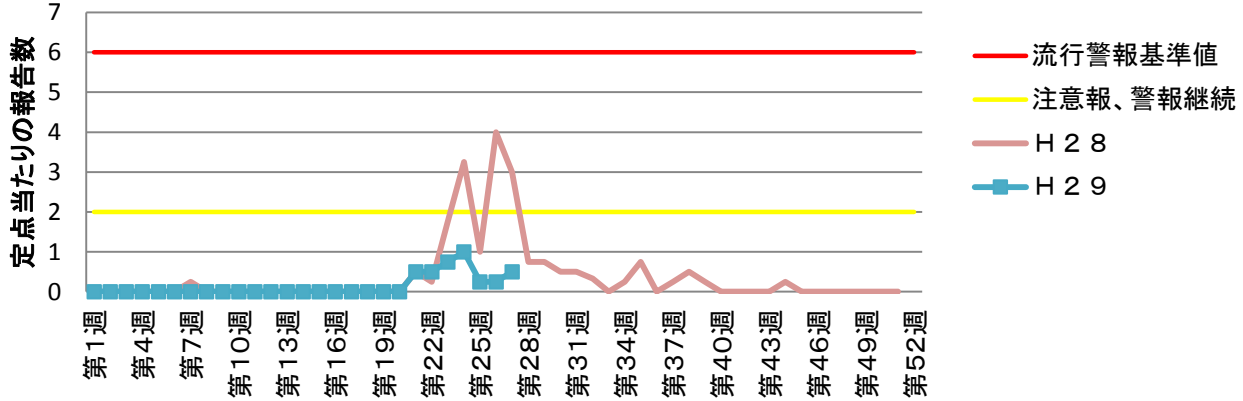
### 突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



### ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

